

市民環境部長の仕事宣言！ 進行管理表

市民環境部長 橋本 有功

①リープロの名称	<b>●リーディングプロジェクト1</b> <b>【環境を守り、未来へつなぐまちをつくるプロジェクト】</b>														
②目標値	<table border="1" data-bbox="456 450 1465 696"> <thead> <tr> <th data-bbox="456 450 826 495">項目</th> <th data-bbox="826 450 1121 495">(H26 年度)</th> <th data-bbox="1121 450 1465 495">目標 (H32 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="456 495 826 551">環境美化活動参加者数</td> <td data-bbox="826 495 1121 551">530 人</td> <td data-bbox="1121 495 1465 551">1,800 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 551 826 640">市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量</td> <td data-bbox="826 551 1121 640">908 g / 人・日</td> <td data-bbox="1121 551 1465 640">883 g / 人・日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 640 826 696">リサイクル率</td> <td data-bbox="826 640 1121 696">28.2%</td> <td data-bbox="1121 640 1465 696">28.3%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	(H26 年度)	目標 (H32 年度)	環境美化活動参加者数	530 人	1,800 人	市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量	908 g / 人・日	883 g / 人・日	リサイクル率	28.2%	28.3%
項目	(H26 年度)	目標 (H32 年度)													
環境美化活動参加者数	530 人	1,800 人													
市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量	908 g / 人・日	883 g / 人・日													
リサイクル率	28.2%	28.3%													
③今年度の目標	<p>① 平成29年3月に作成した第2次鳥栖市環境基本計画（改訂版）の各種取り組みを推進していきます。特に、県内一斉ふるさと美化活動、スポーツごみ拾い、捨てちゃい缶バイ作戦及び轟木川清掃の活動を引き続き実施し、市民及び企業の参加者が増加するよう更なる啓発・広報を行います。また、リサイクルやごみ減量に関する地域の講習会や小中学校に職員を講師として派遣して、市民や小中学生の「ごみ」に対する関心を高める機会を推進します。</p> <p>② 適正な分別やごみ減量化に関する情報を市の広報紙やホームページ（アプリによる情報提供など）に掲載することで、リサイクルやごみ減量に対する啓発及び意識の向上を図っていきます。また、溶融資源化センターやリサイクルプラザの各施設の見学等を行い、環境保全意識の向上を進めます。また、資源回収意識の醸成のため、まちづくり推進センターと連携した新たな取り組み（資源物回収所の設置等）を進めていきます。更に、生ごみ堆肥化容器等や集団回収への助成を行い、ごみの減量化、資源化を推進します。</p>														
④上半期の取組内容	<p>県内一斉ふるさと美化活動では、昨年3割増しの295人の参加がありました。また、町区や小学校、日本語学校での環境出前講座を開催し、ごみ減量化等の啓発を行いました。上半期で264人の受講者数となりました。今後の環境美化活動や出前講座でも多くの参加者を目指します。</p>														
⑤下半期の取組内容	<p>① 環境美化活動については、市及び県による清掃・美化活動、まちづくり推進協議会によるクリーンアップ活動など多くの市民の参加を得ながら市内の環境美化を推進し、平成29年度は1,200人を超える参加者を見込んでいます。</p> <p>② ホームページ上の「ごみアプリ」の充実を図り、環境意識の啓発を一層推進しました。また、小学校や出前講座によるごみ減量化等の情報発信に努めました。古紙回収ボックス設置の取組は現在、関係機関との調整を進めました。</p>														
⑥数値目標の結果	<p>◇環境美化活動参加者数：平成29年度末見込＝1,200人                  ◇市民1人1日当たりごみ排出量：平成29年度末見込＝859g/人・日                  ◇リサイクル率：平成29年12月末時点＝26.6%</p>														

**⑦成果と課題  
(次年度に向けて)**

環境美化活動については、まちづくり推進協議会との連携を更に充実し、多くの市民の方々が参加出来るよう、今後も継続的に推進していきます。ごみ減量化・リサイクルの意識の向上については、地域、学校、事業所への取組を充実させることが大切であることから、更なる広がりが進むよう努めていきます。

◇副市長の指示

上半期

- ・排出ごみの分析に努め、適正な分別やごみ減量化に関する情報を様々な機会を通じて周知すること。また、環境美化活動など自主的な活動を行いやすい環境支援に努めること。

下半期

- ・日々の生活の中で、ごみ減量化・リサイクルの意識醸成が図られるような周知・啓発を行っていくこと。また、地域、学校、事業所等の関係機関と連携を図りながら、各種施策に取り組んでいくこと。

市民環境部長の仕事宣言！ 進行管理表

市民環境部長 橋本 有功

①リープロの名称	<b>●リーディングプロジェクト7</b> <b>【自分らしく暮らせ、みんなで進めるまちづくりプロジェクト】</b>														
②目標値	<table border="1" data-bbox="454 488 1425 739"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>(H26 年度)</th> <th>目標 (H32 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>語学ボランティア登録者数</td> <td>19 人</td> <td>25 人</td> </tr> <tr> <td>鳥栖市民活動センター利用者数</td> <td>14,484 人</td> <td>17,500 人</td> </tr> <tr> <td>市民活動ガイドブック登録団体数</td> <td>97 団体</td> <td>125 団体</td> </tr> </tbody> </table>			項目	(H26 年度)	目標 (H32 年度)	語学ボランティア登録者数	19 人	25 人	鳥栖市民活動センター利用者数	14,484 人	17,500 人	市民活動ガイドブック登録団体数	97 団体	125 団体
項目	(H26 年度)	目標 (H32 年度)													
語学ボランティア登録者数	19 人	25 人													
鳥栖市民活動センター利用者数	14,484 人	17,500 人													
市民活動ガイドブック登録団体数	97 団体	125 団体													
③今年度の目標	<p>① 国際交流を支援する団体等との情報交換を定期的に行い、外国人と市民との相互理解を深める「こくさいカフェ」を継続して開催していきます。また、文化庁の日本語教育事業の具体的な事業を進め、語学ボランティアの強化、連携事業の推進など、地域の日本人及び外国人住民の双方に必要な情報提供と取り組みを進めていきます。</p> <p>友好交流都市であるドイツ国ツァイツ市の1050年祭に公式訪問団を派遣し、更なる友好の充実を図ります。また、本年度は、本市から学生をツァイツ市に派遣し、ツァイツ市民との交流を深め、国際交流の更なる充実向上を図っていきます。</p> <p>② 市民活動団体の自立と活動の充実を進めるため、市民活動センター設置10年の節目に合わせてシンポジウム等を行い、これからの市民活動の活性化を図ります。また、各地区のまちづくり推進協議会の取組が一層推進されるよう、職員の支援を充実させるとともに、市との連携の強化を図り、各地区の特性に応じた魅力あるまちづくり活動を支援していきます。</p>														
④上半期の取組内容	<p>文化庁の日本語教育事業では本年度の取組の「にほんごパートナー」の募集や日本語教室の試行も計画しており、来年度の本格実施に向け適切に進めていきます。ツァイツ市の1050年祭公式訪問団、子ども交流事業ともに期待を上回る交流ができ、更に友好関係が深まりました。</p>														
⑤下半期の取組内容	<p>① 日本語教育事業では、来年度の本格実施に向けた日本語教室「とりんす」の試行の取組が順調に進んでいます。継続して定期的で開催している「こくさいカフェ」では定着が進み、外国人の方と市民の皆様の交流が深まっています。</p> <p>② 市民活動活性化シンポジウムが9月から3回にわたって開催され、それぞれの取組において個性豊かな内容となり市民の皆様の市民活動意識の高揚・啓発の契機になりました。</p>														
⑥数値目標の結果	<p>◇語学ボランティア登録者数：平成30年1月末現在＝28人</p> <p>◇市民活動センター利用者数：平成30年1月末現在＝15,509人</p> <p>◇市民活動ガイドブック登録団体数：平成29年度＝104団体</p>														

**⑦成果と課題  
(次年度に向けて)**

日本語教育事業は国支援の最終年度であることから、本格実施を進めていくために、一層の広がりが出せるように、外国人及び市民、関係機関との連携を図り、平成31年度以降の事業展開を見据えた対応も進めていきます。市民活動については、市民活動センターでの取組、まちづくり推進センターの事業など、それぞれの特性を活かして市民協働の更なる推進を図っていきます。

◇副市長の指示

上半期

- ・文化庁の日本語教育事業については、来年度の本格実施に向けて関係機関との連携・調整に努めるとともに、一人でも多くの市民に参加していただけるよう広報に努めること。
- ・各地区の特性に応じた魅力あるまちづくり活動を支援するため、まちづくり推進協議会との更なる連携強化に努めること。

下半期

- ・国際交流の一環で実施している日本語教育事業は、平成30年度で国の支援が終わるので、31年度以降の事業展開を見据えて、事業実施に取り組んでいくこと。
- ・各地区のまちづくり推進協議会の取組が一層推進されるよう、協議会への支援を充実させるとともに、連携の強化を図りながら、魅力あるまちづくりに取り組んでいくこと。